



# 議会だより



## INDEX

- 平成20年度当初予算が成立 ..... 2
- 子供の医療費が小学校卒業時まで無料に ..... 4
- 一般質問(3月定例会) ..... 5
- あれからどうなったの? ..... 11
- 働く人 ..... 12

No. 9

平成20年4月22日発行

# 新年度予算136億6千万円を可決

一般会計	105億 100万円	6.2%の増
特別会計	31億6015万円	6.9%の減
<b>合 計</b>	<b>136億6115万円</b>	<b>2.9%の増</b>

## 子供の医療費無料化を拡大

三月定例会では、町長から提案された一般会計百五億百万円と、九特別会計三十一億六千四百五十万円を合わせた、総額百三十六億六千四百五十万円となる平成二十年度予算案を審議し、一般会計と後期高齢者医療事業特別会計、国民健康保険事業特別会計の三会計を賛成多数で、その他の七会計を全会一致で可決しました。

子供の医療費を、小学校卒業時の十二歳まで無料化とする子育て支援医療費助成事業を盛り込んだ一般会計予算は、昨年度と比較して、六・二パーセントの増となっています。

また、今年度から、昨年度に策定され、今後十年間の町政運営の指針となる「第一次おい町総合計画」や、この計画に基づき、今後五年間の具体的な事業を定めた「中期振興事業実施計画」に基づく各種の施策が実施されることになっており、併せて「行政改革大綱」や「集中改革プラン」に基づく行政財政改革が推進されます。

### 【平成二十年度予算のポイント】

- 一般会計は百億円を超える大型予算に。
- 町税収入の〇・五パーセント（二千九百九十一万二千円）の減など、自主財源は二・五パーセントの減。
- 財政調整基金などからの繰入金 は十四・五パーセント減の九億四千五百三十三万円、また、町債の発行は六・七パーセント減の二億三千九百十万円に抑制。
- 歳入で原子力発電所立地に関連するものは五十七億八千九百五十四万円で、全体の半分以上を占める。
- 新規事業（百万円以上）は二十二件で、農林水産業の活性化や教育・文化振興の充実などに重点。
- 人件費では、集中改革プランに定める職員数の削減目標を達成しており、約四千万円の削減効果を実現。
- 特別会計は、後期高齢者医療事業特別会計が加わったことにより九つに。

### 重点事業

- うみんぴあ大飯の整備  
三億六千四百八十八万七千円
- 名田庄総合施設の整備  
三億一千七百七十八万六千円
- 光ケーブルの引込工事など  
一億七千五百三十三万五千円
- 名田庄漬工場の移転  
一億六千六百十四万二千円
- 名田庄ウツディーセンターなどの移転  
一億二千七百九十四万五千円
- こども家族館の管理運営  
九千七百九万八千円
- 子供の医療費無料化  
三千百三十六万円
- なごみの七年間の運営委託料  
五億六千万円



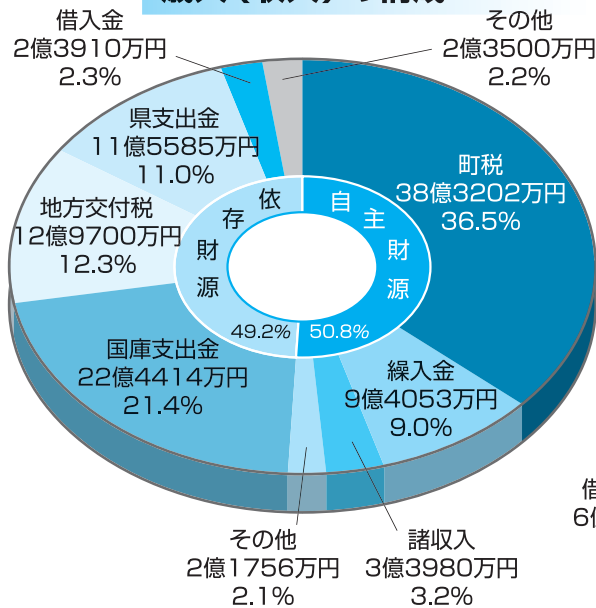
すべての施設が完成した「なごみ」

# 魅力を高め

# さらに飛躍する元気なまちへ

## 一般会計

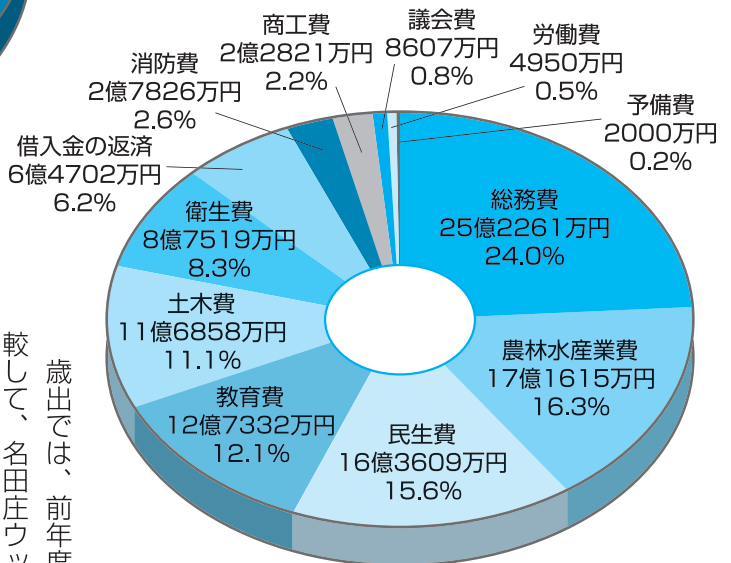
### 歳入(収入)の構成



歳入では、町税などの自主財源は、前年度と比べて二・五パーセントの減となっておりますが、町税や使用料の減収分が財産収入や諸収入で補われ、基金繰入や町債の発行が最小限に抑えられています。

一方、地方交付税などの依存財源は、原子力発電所立地に関連して国・県から交付されるお金の増額により、十七・〇パーセントの増と大きな伸びを示しています。

歳出では、前年度と比較して、名田庄ウツディセンターや名田庄漬工場の移転を行う経費が計上された農林水産業費が、三十八・〇パーセントの増に、また、名田庄小学校の耐震改修や名田庄総合施設の建設を行う経費が計上された教育費が、三十二・七パーセントの増と大きな伸びを示しています。



### 歳出(支出)の構成

## 特別会計

会計名	予算額	前年比%
老人医療	9815万円	△90.4
後期高齢者医療	1億289万円	皆増
国民健康保険	8億2945万円	1.9
国民健康保険診療	1億6738万円	△9.1
介護保険	6億9565万円	13.0
介護サービス	1256万円	△21.8
簡易水道	5億7289万円	131.4
農業集落排水	5億1062万円	50.7
特定環境保全公共下水道	1億7056万円	5.5
合計	31億6015万円	△6.9

特別会計では、本年四月から新しく制度の運用が開始された「後期高齢者医療制度」に対応するため、「後期高齢者医療事業特別会計」が創設され、町で保険料の徴収などが行われることになりました。

これに伴い、「老人医療事業特別会計」では、今後、事業の精算だけを行い、二年後に廃止される予定です。

また、本郷配水地の整備を行う経費が計上された「簡易水道事業特別会計」は、百三十一・四パーセントの増と大きな伸びを示しています。



1回  
臨時会

# こんなことが決まりました

3月  
定例会

第1回臨時会（1月25日）では、原油価格高騰対策を行うための一般会計補正予算や、成海棧橋の工事請負契約の締結など3議案を可決しました。

また、3月定例会（6日～21日）では、一般会計補正予算（△4375万9千円）や、後期高齢者医療制度の開始に関連する条例、平成20年度一般会計予算（105億100万円）など43議案を可決しました。

## 原油価格高騰対策に四百八十一万六千円を追加補正

### 一般会計補正予算

原油価格高騰対策として、生活弱者世帯への五千円を限度とした灯油購入費の助成と、漁業者の方への漁船用燃料購入費の一部に対して助成を行うための費用を追加するもので、全会一致で可決されました。

#### 【主な歳出】

- ・ 灯油購入費への助成 二百一十一万六千円
- ・ 漁船用燃料購入費への助成 二百七十万円

## 成海棧橋整備工事は一億八千六百九十万円に契約

### 成海棧橋整備工事請負契約の締結

うみんぴあ大飯で、観光船などを発着させるため、長さ三十二・八メートル、幅八メートルの浮き棧橋を建設するもので、先に実施された入札の結果、東洋建設株式会社福井営業所が一億八千六百万円で落札しており、十二対一の賛成多数で、その契約締結が承認されました。

## 総額約一億四千万円を減額補正

### 一般・特別会計三月補正予算

事業費の確定による不用額の減額や、所要事業経費の追加などを行うものです。

特別会計補正予算と合わせて九議案が、すべて原案どおり可決されました。

#### 一般会計

- △四千三百七十五万九千円
- 【主な歳出】
- ・ 「なごみ」施設維持基金積立金 九千二百一十二万円
- ・ 佐分利保育園建設事業補助金 一億六百七十九万一千円



建替えが予定されている佐分利保育園

### 老人医療事業特別会計

△七千九百万三千円

### 国民健康保険事業特別会計

一千四百二十万八千円

### 国民健康保険診療事業特別会計

五百六十八万二千円

### 介護保険事業特別会計

△二百四十七万一千円

### 介護サービス事業特別会計

△四十一万四千円

### 簡易水道事業特別会計

△一千五十八万八千円

### 農業集落排水事業特別会計

△一千六百四十七万七千円

### 特定環境保全公共下水道事業特別会計

△五百二十二万円

## 子供の医療費が小学校卒業時まで無料に

### 乳幼児の医療費助成に関する条例の改正

この条例の改正は、今まで乳幼児医療費の無料化を、小学校入学前の六歳までとしていたものを、少子化対策の一環として、小学校を卒業する十二歳までに拡大するものです。

県内でも先進となるこの制度は、全会一致で可決されました。



## 一般質問

六人の議員が町政をたずねます



浜田 勝美

### 平成二十一年度予算と重点施策は

乳幼児医療費の助成拡大を実施します

**問** 行政組織における機構改革の具体的内容は。

**答** (町長) 行政改革大綱を着実に推進していくため、行政組織を改革します。

「新町建設計画推進室」を廃止し、「企画課」に統合、「産業振興課」を廃止し、「農林水産振興課」と「商工観光振興課」を設置します。

**問** 本年度予算の中に「子育て支援医療費助成制度」が計上され、新規事業として「次世代育成支援行動計画」の策定が予定

されていますがその内容は。

**答** (町長) これまでの「乳幼児医療費助成制度」を、本年四月から「子育て支援医療費助成制度」に名称変更し、県内の市町では初めて、小学校卒業時の十二歳まで無料化を拡大することで予算を編成しました。

また、二十二年度から五年間の計画策定に向けて、本年度は「支援対策地域協議会」を設置し、アンケート調査の実施や、行動計画の点検と評価を行います。

**問** 原子力発電所の「監視試験片」の個数不足が報道されましたが、大飯発電所の現況は。

**答** (町長) 「監視試験片」は、原子炉容器の劣化状況を適切に調べるために計画的に取り出され、専用計器により強度が測定されています。

大飯発電所では、運転終了時まで一・二号機では四回、三・四号機では三回の取り出しが要求されていますが、現在、六個ずつ装置されており、十分な個数を保有しています。

**問** 名田庄総合施設整備事業の進捗状況は。

**答** (副町長) 委託設計業者が決定し、現在、提案された資料を基に意見交換をしながら、基本設計策定に取り組んでいます。

今後は、新たに大飯地域の方にも委員に加わっていただき、多くの皆さんの意見を取り入れていきます。

**問** 財政基盤の安定・強化をするため、企業誘致は緊急の課題ですが、その取り組みは。

**答** (副町長) 県の企業誘致課や東京・大阪事務所などの協力を得ながら企業訪問を実施します。

また、東京や大阪などの地元県人会や関係機関が主催する会合に積極的に参加し、情報の発信と収集に努めます。

**問** 「中期振興事業実施計画」に示された「プロジェクト推進検討会議」の活動内容は。

**答** (新町建設計画推進室長) 本年度から二年をかけて住民、事業者、行政などで構成する「プロジェクト推進検討会議」を

設置するため、本年度は参加者を募集し、交流・定住・活動人口の増加を目指し、協働のまちづくりの推進に取り組めます。

**問** 昨年、学校教育法が改正され、三位一体の連携がさらに重要になりましたが。

**答** (教育長) 町内各小中学校に地域・学校運営協議会を設置し、相互に連携をとっています。法改正により、学校評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善、学校の情報提供に関する規定が設けられました。

今後は学校に対して共通の理解を深め、連携協力をして、改善方策の検討に努めます。

**問** 「後期高齢者医療制度」の周知・対応は出来ていますか。

**答** (なごみ保健課長) 国や県、広域連合と連携し、チャンネルオールの番組や町の広報紙、健康教室などを通じて説明に努めています。

**問** 椎首の特産化への課題と量産体制の対策は。

**答**

(産業振興課長) 町内の二つの施設は種園が違いため、一本化することは困難です。

今後は新商品の開発や集出荷、販売方法の改善などの方策が必要となってきます。



小野 泰孝

**町費負担教員配置事業の具体策は**

増員して学校教育を一層充実させます

**問** 町費負担教員配置事業では、人的な充実に努めたいとのことでしたが、その具体策は。

**答**

(教育長) 生活支援、多人数の指導者、特別支援学級の指導や複式学級の解消のために、複数の指導者が、それぞれの専門性や個性を活かし、協力して指導計画や学習指導案の作成、教材教具の開発、評価などを行っています。

また、分担・協力をして、指導していくために必要に応じた増員を考え、一層学校教育の充実に努めていきます。

**地籍調査事業の課題とその費用の負担割合は**

隣接する地権者どうしの十分な話し合いが必要で、国二分の一、県四分の一、町四分の一の負担で実施

**問**

地籍整備事業を二十年近く進めてきた中で、一般的な問題点があったら示してください。

また、この事業の費用で国・県・町の負担割合はどのようになっていますか。

**答**

(町長) 本町では、平成三年度の川上地区での調査を最初として調査を進めてきており、平成二十年度で大飯地域の平野部の調査が完了する予定となっています。

また、続いて平成二十一年度からは、名田庄地域での調査を開始する予定となっています。

調査整備を実施する時の境界の確

定は、公図や道路台帳などを参考にしながら、両地権者の合意の下で行っていますが、今までは、最終的に地権者間の合意が得られないために境界が確定せず、筆界未定になった箇所がいくつかあります。

このような状態になると、その部分で地籍調査の成果に基づき法務局で備えつけられる不動産登記法第十四条の規定による地図上に境界が入らず、その後、分筆・合筆や地籍更正などの登記をする時に、地権者間で改めて境界を確定しなければならぬことや、測量や登記などに個人で多くの費用と日数をかけて行う必要が生じることなどから、将来に問題を残すことのないようにお願いしたいと思います。

また、この事業にかかる費用は、補助対象経費に国が二分の一、県が四分の一、町が四分の一の割合で負担しており、現在までに掛か



立会い後に打たれる境界杭

た補助対象経費と補助対象外経費の合計額は、三億八千万円となっています。

**子供議会を開催しては**

学校や関係者などと協議・検討をします

**問**

小・中学生らに自由に意見を開陳する機会を与えるため、子供議会を開催できませんか。

**答**

(教育長) 旧大飯町では、平成元年度に、議会の役割や仕組みを学ぶことと、政治や行政に興味・関心を持たせることを目的として、「チビッコ議会」を開催したことがあります。

本町の現状や将来のことを考えさせ、その考えを提案してもらうことは、町民の一員としての自覚を持たせる上でも大変意義があるものと考えています。

このような体験活動は、開催時期、実施内容など色々な課題が考えられるので、学校や関係者などとよく協議しながら検討していきます。



中塚 寛

**■新規財源確保と企業誘致は**

**致は**  
新たな財源は企業誘致や人口増加で

**問** 大規模償却資産税の落ち込みを主な要因として、一般財源確保が年々厳しくなる中、行財政改革を進めるのは勿論ですが、新たな財源確保と企業誘致には所信表明の中でも言及されていません。今後の町長の取り組み姿勢は。

**答** (町長) 新税の導入は、ほとんどの課税客体に既に課税済みであり大変困難なことから、財源確保には企業誘致による経済活性化や、人口増加による増収が欠かせません。

昨年末に立ち上げた各課横断的な企業誘致プロジェクトチームが本年度より、県などの協力をいた

だきながら、企業訪問を行います。

**提** (提言) 町職員全員から、経費削減のアイデアを募集されています。

**問** 平成十八年十二月議会で、新規財源確保に向けた取り組みを、しかるべく時期にお知らせする旨の発言がありました。状況は。

**答** (町長) 新たな財源を求めるといふと勢い発露所に求めがちですが、昨今の厳しい、難しい状況の中でその後進展しておらず、財源の確保までには至っていません。

**問** おおい町総合計画で、エネルギー産業との共存共栄の企業誘致に取り組み、平成二十九年度までに七つの企業の誘致を目指してありますが、中間目標の設定や、定期的な活動報告が必要では。

**答** (副町長) 段階的な目標や報告についても情報の共有をしていきます。

**■交流人口の増加策は積極的にアクションを**

**問** 県立こども家族館の開館に合わせて、国の計画している、「子ども農山漁村交流プロジェクト」に積極的に取り組むことが、交流人口の増加と、農林漁業の活性化やグリーンツーリズムなどの体験型観光発展の契機ともなりませんが。

**答** (産業振興課長) 平成二十五年からの本格実施に向けての試行期間であり、情報が不足していますが、積極的にアクションを起こし、メリットを考慮しつつ、受け入れ態勢の確立や条件整備をしていきます。

**■協働の町づくりはぜひ進めていきますか**

**ワークショップ形式を取り入れます**

**問** おおい町総合計画に示された「みんなで取り組むプロジェクト」は、協働による町づくりを進める上で重要ですが、従来のコンサル依存体質から脱却し、町民が地域づくりに参画しようとする意識の醸成こそ大切だと考え

ますが。

ますが。

**答** (新町建設計画推進室長) 住民が主体となった町づくりの輪が広がることにより、町が活性化すると考えています。また、ワークショップ形式を進めていきたいとも考えています。

**■森林振興への取り組みは好機を逃さないよう積極的に**

**問** 温暖化防止や、水源の涵養、水害・土砂災害の防止など公益性の高い森林の整備には、国家予算が期限付きで潤沢な今こそ、旧に倍して取り組むべきと考えますが。

**答** (産業振興課長) 集中的な森林保全対策が講じられているこの機を逃がさず、路網整備や、林業機械の導入による間伐促進などに積極的に取り組んでいきます。

**答** (産業振興課長) バイオマスエネルギーの利用も研究しており、木質ペレット使用のストーブなども理解が得られれば、利用



を考えていきます。

### ■教育振興への取り組みは 社会全体の教育力の向上を

**問** 人材育成に行政が力を注ぐのは、住民の豊かで幸福な生活の実現が、ひいては自治体の発展につながるからであると考え

ます。

しかし、個人主義の横行により社会貢献への意識が失われつつあることは憂慮すべき現象です。

そこで、課題解決に向けた各種教育の具体的目標設定と相互協力体制の構築が早急になされるべきでは。

**答** (教育長) 「健やかな心と生きる力にみなぎる人を育む町」の実現に向けて、家庭・学校・地域の連携による社会全体の教育力の向上を行っていきます。

**問** 「町づくりは人づくり」と言われて久しくなりますが、

図書館で日常生活に密着した情報の提供をしながら、公民館のカルチャーセンター化を防止し、学習成果を地域づくりと社会への還元

を意識した人材育成のために、より具体的な短期目標を設定して、各種教育活動の集約化と相互協力により、成果の見える施策に転換すべきでは。

**答** (教育長) 各教育方針に基づき詳細な検討を加える必要がありますが、町づくりは人づくりであるという認識を強めていき、より一層成果の上がるよう努めます。

**指** (指摘) いじめや不登校の処療法だけではなく予防の観点から、日常のメンタルトレーニング活動も検討すべき。



新谷 欣也

### ■鳥獣害特措法への対応は

#### 「おいしい町鳥獣害防止計画」を策定します

**問** 本年二月二十一日に鳥獣害特措法が施行されましたが、これを受けて町としての鳥獣

害対策をお聞きしたい。

**答** (町長) この法律の対象事業として、新たに侵入防止柵の設置を計画しており、平成二十年度からの実施を目指して、その採択条件となっている「おいしい町鳥獣被害防止計画」を作成しているところです。

**問** 有害鳥獣を清掃センターで一般廃棄物として焼却処分できませんか。

**答** (町長) 清掃センターでの焼却も可能ですが、近隣住民の忌避的な心情に配慮し、今後清掃センターでの焼却処分は行いません。

**問** 有害鳥獣の食肉加工施設を作って、有効利用することは考えられませんか。

**答** (町長) 処分するだけの有害鳥獣を資源としてとらえ、食肉として有効活用すること

も大切な視点ですが、建設費用や管理運営費用の負担、加工技術や販売知識の獲得など、採算性を考えた場合には多くの課題があることから、現在、広域的な取り組みが協議されており、鳥獣害特措法

の対象事業として、焼却施設と併せて処理加工施設の建設が検討されています。

**問** 移動式焼却炉を購入して処理してはどうか考えますが。

**答** (町長) 大規模なものは法律の規制など数多くの制限を受けることから、移動式のものはどうしても小型の設備に限定されてしまいます。

既に導入している若狭町の状況を見ますと、移動式の焼却炉では焼却能力が限られているため、大型の獣類は切断して炉に入れるなどの作業が必要であり、焼却時間が長くなることや、作業員の確保も含めた維持管理経費の問題などから、交通事故などで死んだ動物だけを焼却の対象にしているのが現実です。

このような状況から、移動式焼却炉の導入は、広域的な焼却施設の建設の推移を見ながら、慎重に判断する必要があると考えています。



市販されている移動式焼却炉



田中 景子

男女共同参画は進んでいますか

女性の活動プランを展開します

問 昨年予算付けがされていましたが、事業実績がありません。実態はどうでしたか。

答 (副町長) 昨年の三十万円の予算では、「おおい町男女共同参画プラン」の作成のみを行いました。

問 本年は六十五万円が計上されていますが、計画の実行は。

答 (副町長) 「男女共同参画推進会議」の速やかな設置に向け、住民の方と問題点を探り、ルールに努め、講演会などの開催の費用にも計上しています。

問 「男女共同参画推進会議」のメンバー構成と人数は。

答 (副町長) 構成では、年齢にはこだわらず、幅広く求めていると考えていますが、人数は現在のところ未定です。

問 集落内での古いしきたりの中で、女性の声が届くようにするための指導も必要と思いますが。

答 (副町長) そのとおりであると思いますが、女性区長がいらっしゃることも大変良いことだと思います。

問 本町には女性管理者が何人いますか。

答 (副町長) 十人です。

問 庁内で「女性のくせに」などと思う職員はいないと思っ

ていますか、庁内での指導は。

答 (副町長) そのような職員はいませんが、いれば大変な事なので、今後もよく指導をしていきます。

問 女性の能力開発や質の向上などに本町は取り組んでいますか。

答 (副町長) 職員全体を対象として能力開発などを行っているものは特にありません。

うみんぴあ大飯には、今後にもさらに投資をしますか

事業展開は健全な維持管理で

問 平成二十一年のグラウンドオーブンを控えて、今年から見込まれる残りの町負担事業は何ですか。

答 (町長) 今後は、①鳴海栈橋工事、②水路沿いの防護柵工事、③複合型交流施設の外構工事、④観光船施設用地の整備工事、⑤先端緑地整備工事、⑥駐車場整備工事を予定しています。

問 さらに、マリーナ海上係留の増設や、周辺管理整備を実施設計に沿って行っていきますか。

答 県の所有する環境緑地と先端緑地の一部の整備費は、全て県が負担してくれるのですか。

また、その後維持管理費は誰が負担するのですか。

答 (町長) 平成二十四年までかかって県が工事を施工します。

また、その後の維持管理費は町が負担します。

問 企業誘致用地の維持管理費は誰が負担するのですか。

答 (町長) この用地の維持管理費も町が負担します。

問 こども家族館とエルガイアおおいに行くまでの空地は手を加えるべき箇所だと思いますか。

答 (町長) 入口の右側は外構工事を予定しています。

問 こども家族館の建物はガラスの部分が多くなっていますが、その清掃費用は誰が負担するのですか。

答 (町長) 一度拭くと一年は持ちますが、今後はこの費用も町が負担することになります。

問 こども家族館の維持管理費には、九千七百万円が計上されていますが、その予算は八月の開館から三月までの八カ月分の費用ですか。

答 (町長) 平成二十一年度からは年間一億三千万円が必要となる予定です。

問 埋立開始から今日までの事業費の総額はいくらになりますか。

答 (町長) 総額は百八十一億四千万円で、その内の六十三パーセントが国と県の負担です。



猿橋 巧

**複合型交流施設とこども家族館の課題への対応は経済効果を生み出すことや運営の効率化を行います**

**問** 複合型交流施設を町の観光活性化の拠点施設として考えていますが、その経済効果を出せますか。

**答** (町長) ベイフロントプラザの長期収支計画は十五年間で五十六億千三百万円となっており、これだけの額が投資されるということであり、地元にもそれなりの経済効果が生み出せると考えます。

**問** こども家族館の運営面での人材や財源の改善は行なわれていますか。

**答** (町長) 館を運営する組織として、総務、事業総合企画、

ものづくり等企画運営、クッキング企画運営の四グループを合わせて、二十四名体制で運営を計画しており、最少の人数で効率的な運営をしたいと考えています。

財源は運営費や事業費を抑制するため、開館時のオープニングイベントを県で行うなどとしています。

また、一般財源の支出を抑える方策として、国庫資金を出金当てることも考えております。

**インターネットビジョン事業での町民サービス向上はインターネットが半額で**

**問** アイネットびあビジョン事業における町民サービス向上策を問います。

**答** (電子情報課長) 平成十五年度から高速通信網構築事業に取り組んでおり、この事業は、テレビの放送用とインターネットなどの通信用の二本の光ケーブルを「アイネットびあプラザ」から各家庭間へ引き込むもので、今年の八月に引き込み工事が終わります。

インターネットでは、光ケーブ

ルによる通信サービスの実現は多額の通信機器と専門的な保守管理が必要であるため、NTT西日本がサービスを提供することになりました。

町が整備した光ケーブルを活用してサービスを受けることで他市町と同様なサービスと比較しても約半分程度の安価な価格で利用することができま

**結婚・出産・健康づくりに対しては慎重に検討します**

**問** 少子化問題以前に男女の出会いや交流の場を作り、機会を促進させる必要がありますが。

**答** (副町長) 月に一回、結婚相談窓口を開設し、婦人福祉協議会の結婚相談員が相談にあっています。

また、出会いの場を提供するため「若者出会い交流応援事業」を実施しています。

**問** 妊産婦への医療費助成を一人目から無料にできませんか。

**答** (なごみ保健課長) 平成十八年度には第三子の十四回までを、平成十九年度には第一子、第二子の五回までを助成しており、全回無料化は慎重に検討します。

**プルサーマルの計画は現在は白紙**

**問** 原子力発電行政の諸問題のうちプルサーマル計画と地震計の設置について聞きます。

**答** (町長) プルサーマル計画は、使用済燃料を再処理し、回収されるプルトニウム、ウランなどを有効利用することを基本方針とした核燃料サイクルを堅持するためのものです。その重要性は十分理解していますが、大飯発電所での計画は現在白紙の状態であり、計画された場合には、諸条件を踏まえたうえで、各方面の意見も聞きして判断すべきであると考えます。

また、地震計は、二号機の建屋に本年度から六カ所の現地調査を十分行いながら設置する計画であるとの報告を受けています。



# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成18年9月定例会からピックアップしました。

### 名田庄漬工場の存続を

工場の老朽化を機に、町外で生産されようとしているが、ブランドイメージを崩さないよう、引き続き地元で生産をおこなうべきでは。(小野泰孝 議員)

どうなった？

### 権限の移譲が完了

JA若狭から町に生産の権限を移譲し、名田庄商工会が生産を行うことになりました。また、名田庄西谷区に新工場の建設が検討されています。

さらに  
どうなった？

### 新工場の建設が始まります

新年度予算で、新工場建設予定地(名田庄西谷)の用地購入費や物件移転費、造成工事費が計上されており、本年度から新工場建設に向けて事業が開始されます。



新工場の建設予定地



建設が進む本郷配水池

### うみんぴあ大飯の水対策は

「うみんぴあ大飯」での使用水量が増えることにより、本郷地区での水不足が心配されますが、対応策はできていますか。(勝山欣一 議員)

町長答弁

### 新しい配水池を増設します

マリーナ施設など「うみんぴあ大飯」の各施設には受水槽を設置し、さらに新しい配水池を増設することにより、大津呂ダムの完成までは対応します。

どうなった？

### 本郷配水池を建設中

現在、本郷地係に1,000トンの配水池が建設されており、平成21年度には完成する予定で、平成24年度から供用が開始される大津呂ダムにも対応します。



# 働く

## 森林の守り人 三谷義太郎さん

お歳ばもうすぐ満の80歳を迎えられますが、今日も元気に、檜の枝打ちをされています。新鞍の谷の林道沿いの5haの山は、枝打ち・間伐された見事な杉・檜の森林が続く、まさに美林街道です。林業に携わること50年、この道の達人に聞きました。

国内の林業は40年代後半の価格・需要をピークに、安価な輸入材と国内の人件費の高騰と相まって、価格は下降しており、現在も厳しい状況にあります。過去、大飯町森林組合長の時代には、100ha規模の植林と管理に奔走されました。その結果、人工林資源量は40年前の4.6倍に増加し国内資源が充実することになりました。しかし、今は地球規模の森林伐採からくる緑資源の減少で、地球温暖化の問題が出てくることになりました。

森林は国民の命・暮らしを守る上で国土の保全、水源のかん養などの重要な役割を果たしており、100年先まで見通した森林づくりが必要となっています。今、手を打つことは、森林資源を量的に充実していくために、造林・間伐などの適切な森林の整備と、花粉症や獣害の対応に加え広葉樹林化など、民有林を主体に国有林がこれを補完して一体的に取り組み、少子化時代に対応して、森林・林業に必要な人材の育成確保をすること。

森林の再生は、国土を守り、水をはぐくむ能力を十分発揮し、潤いのある豊かな暮らしを支える森林と人が共生する



元気な社会の基盤となるものです。「国産材がもう一度主役に返り咲き、子孫に美林を残せる力強い林業・木材産業が復活すると確信している。」と話されました。

己の山を守ることは他の山を守ることに通ずる、そんな幅の広い先を見据えておられる感じがしました。(渡辺)



## バス・ルアーづくり 辻村 浩さん

名田庄三重で、「多種多様なルアー」づくりをほとんど手作業で作られています。辻村さんを訪ねて、その強い思いと「魚」と自然との高度なルアー精度の工房技術を取材しました。天狗ベイツ工房の代表者として、ルアーのトップデザイナーセンスで新しいルアーを作り続けています。

ルアーの材料は様々な木材から作られています、米ヒバ・アラスカ杉、日本材はカツラの木が使われています。オリジナルでの「物づくり」を工程別に取材しました、釣りが好きだがそれ以上に新しいルアーを作り出すことに喜びを感じながら、厳しく精度の高い仕事をされています。

今後はより充実した生産体制を整え、クオリティの高いルアーをこだわりと楽しみを組み入れて、製作したいと熱い思いを言っておられます。第1工程はルアーの原型をNC旋盤で削り出し、第2工程は下地を塗り重ね、第3工程は、コーティングして模様を画きます。第4工程はコーティングを繰り返して乾燥し、最終的には9工程で完成品になります。

「天狗ベイツ工房」としての今後の抱負は、独自のこだわりを忘れずに塗装とテンプレートと型紙の組み合わせを大切にします。そして複雑な模様をルアーに描き手間はかかりますが、「これも譲れないこだわりで…」見た目も楽しいルアーづくりを目指します。「ルアーづくりとは…ファンの方が面白がってくれる、ルアーであることです、さらに技術を磨き頑張ります」と言っておられました。(小川)

## 【編集後記】

新しい議会構成になり、一年が過ぎました。

皆さまに、読みやすく、わかりやすい「議会だより」をお届けしようとして広報編集委員一同、努力しております。

三月定例会は平成二十年度予算審議が大きな議案でした。

今回は新年度のスタートにあたり一般会計予算の概要を紹介いたします。

一般質問は町の将来について、多岐にわたり活発な質疑応答がありました。

今回で四回目となる「働く人」シリーズはいかがでしたか。

取材をして、町内にユニークな仕事に携わる方や達人、名工が多くおられることを知りました。

本年は、親しまれる広報誌になるよう、さらに努めてまいります。

御意見など聞かせてください。

(森内)